



Earth Rise

No. 3

平成 26 年 4 月 11 日(金) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



学校設定教科「やかげ学」

平成 26 年度「やかげ学」は、昨日
4 月 10 日から始まりました。

本校で普通科探究コース・総合コース、地域ビジネス科がスタートして 4 年目を迎えます。一人一人の生徒によりきめ細やかな指導が可能なシステムを構築し、各コースで柱となる目標と特色ある取組を設けています。総合コースでは、学校設定教科として平成 22 年度から「やかげ学」を開設しました。「やかげ学」は、学校設定教科「環境」の中から、地域との連携やボランティア活動の部分を分化・発展させた教科として位置づけ、地域での活動体験を通して、達成感や充実感を持たせるとともに、自己の進路を模索する活動に結びつけることをめざしています。

「やかげ学」は、矢掛町と本校が協定を結び、矢掛町の施設において本校総合コース生徒が職場実習を体験する学校設定教科で、毎週木曜日の午後に実施しています。2 年の「やかげ学Ⅰ」から 3 年の「やかげ学Ⅱ」にかけての 2 年間学習します。「やかげ学Ⅰ」は 7 月まで、矢掛町についての講義を中心に学習し、9 月から実習を行います。「やかげ学Ⅱ」では、7 月まで実習を行い、9 月から活動のまとめとプレゼンテーションの準備を行い、最後に施設の方や地域の方、中学生を対象に報告会を実施し、活動を終えます。

地域との連携を重視した様々な形態の学習活動を通して、他者との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」の重要性を理解する。また社会に積極的に寄与する能力を育成し、持続可能な社会が実現できるような価値観と態度を養うことを目的としています。「持続発展教育（E S D）」を視野に、単なる地域貢献活動にとどまらず、持続可能な社会の担い手を育成していきます。

取組の特色

- ① 矢掛町、矢掛町教育委員会と協定を結び、地域と密接に連携した活動である。
- ② 「矢掛町とは」の講義の講師はすべて矢掛町の職員による出前講座である。
- ③ 1 年間（2 学年にわたって）約 30 回という長期間にわたって実習を行う。
- ④ 評価基準に基づき各施設で生徒の活動状況を観察して評価してもらう。
- ⑤ 本校生徒への効果だけでなく、受入施設側にも効果が期待できる活動である。（win-win の関係）
- ⑥ 文化センターの大ホールで報告会を実施し、関係者以外の地域の方や中学生にも活動を知ってもらう。



テレビ瀬戸内取材

受入れ施設

- ① 矢掛町老人福祉センター
- ② 水車の里フルーツトピア
- ③ たかつま荘
- ④ やかげ郷土美術館
- ⑤ 矢掛町図書館
- ⑥ 矢掛保育園
- ⑦ 矢掛幼稚園
- ⑧ 川面幼稚園
- ⑨ 美川幼稚園
- ⑩ 山田幼稚園
- ⑪ 矢掛小学校
- ⑫ 川面小学校
- ⑬ 美川小学校
- ⑭ 三谷小学校
- ⑮ 山田小学校
- ⑯ 中川小学校
- ⑰ 小田小学校



町職員による出前講座



たかつま荘での介護業務



小学校での学習支援



成果発表会